

# RagChat

## 社内知識活用 AI アプリケーション

製品ご紹介資料

2025.9 -Ver.3-  
<https://ragchat.jp/>

- 1. 会社概要
- 2. RagChat の特徴
- 3. 導入プロセス
- 4. 費用・料金
- Appendix 1.RAG(検索拡張生成)とは？
- Appendix 2.Amazon Bedrockとは？
- Appendix 3.モデル別 特徴・料金体系について
- Appendix 4.Amazon Bedrock ナレッジベースとは？
- Appendix 5.RagChat画面レイアウト
- Appendix 6.利用方法(ユーザー登録手順、ユーザー登録承認手順、パスワード変更方法)

# 1. 会社概要

## 株式会社 協栄情報

URL

<https://cpinfo.jp/>

設立

2011年3月14日

住所

〒104-0033  
東京都中央区新川1丁目28番24号  
東京ダイヤビル4号館5階

TEL

03-6661-9858

資本金

100,000千円

従業員数

単体 329名

製品問合

<https://Ragchat.jp/#contact>

事業内容

- ・ ソフトウェアの設計・開発・検証・評価
- ・ パッケージ 開発・導入・保守・販売
- ・ AWS クラウドソリューション提供
- ・ 機械学習、生成AIを活用した、  
システムの企画・開発および運用

認証・資格

- ・ AWS アドバンスド コンサルティングパートナー
- ・ AWS ソリューションプロバイダー(SPP)
- ・ AWS 500 APN Certification Distinction
- ・ AWS Well-Architectedパートナープログラム
- ・ Amazon EC2 for Microsoft Windows Server  
デリバリーパートナー
- ・ AWS 公共部門パートナー(PSP)

## 2. RagChat の特徴(1/3)

cbi

### RagChat とは

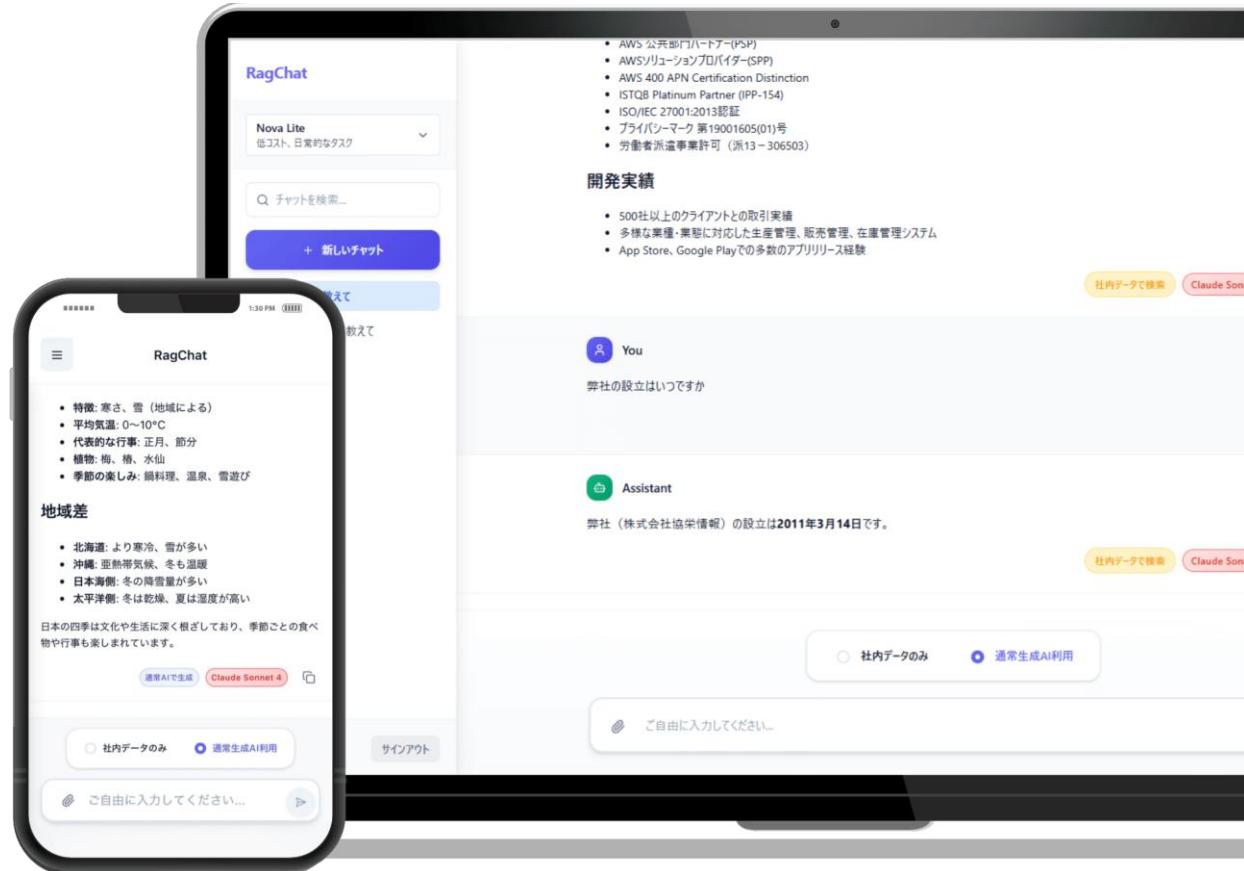
直感的な操作可能なUI設計と、会社の積み重ねてきた経験(ナレッジ)が生成AIを利用して、全社員で共有可能。課題解決力向上の体験を提供します。

### RagChat の主な特徴

- ・ シンプルな UI 設計
- ・ 企業ごとのカスタマイズに対応
- ・ 複数の最新 AI モデルから最適選択
- ・ 安全な社内データ活用
- ・ 既存認証基盤との統合

# RagChat

## 社内知識活用 AI アプリ



## 2. RagChat の特徴(2/3)

### RagChat の活用場面

- ・情報の属人化

特定社員に知識が偏りすぎて、  
その人がいないと業務影響が出てしまう。

- ・社内情報の検索

どこに何の資料があるのか分からず、  
検索に時間がかかるしまう。

- ・新入社員・引継ぎ 資料作成

通常業務の多忙さのため、  
業務資料の作成が後回しになってしまう。

- ・問い合わせへの対応

ユーザからの問い合わせに対して、  
毎回同品質を担保した回答ができていない。

これら全ての課題を解決



**RagChat**  
社内知識活用 AI アプリ

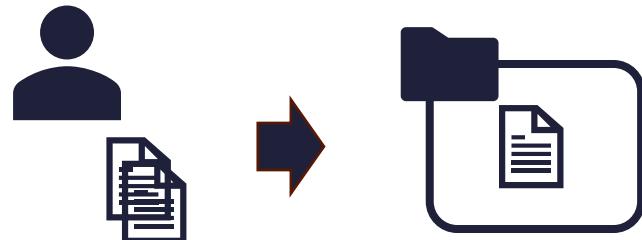
## 2. RagChat の特徴(3/3)

### RagChat 利用イメージ

従業員からの問い合わせに対し、社内ナレッジを参照してAIが即座に回答。  
ハルシネーション(=生成AIによる間違った回答)を抑制し、信頼性の高い情報を提供します。  
利用方法は大きく2つのフェイズで構成されており、特別な訓練は必要としません。

#### 1. ナレッジ追加

特定の場所にドキュメントを配置



共有したいナレッジ

#### 2. ナレッジ利用

RagChatの画面から質問



### 3. 導入プロセス

- ・お申し込みから最短 3週間で導入可能
- ・企業の抱える課題の整理 から 運用方法、保守運用まで継続的なサポート



## 4. 費用・料金

- ・要望ヒアリングは無料で、お客様環境に合わせた最適なプランをご提示します
- ・運用開始後の AWS利用料(生成AI利用分の料金等)は別途実費

### 初期導入費用

1,000,000円(税別)

### 提供内容

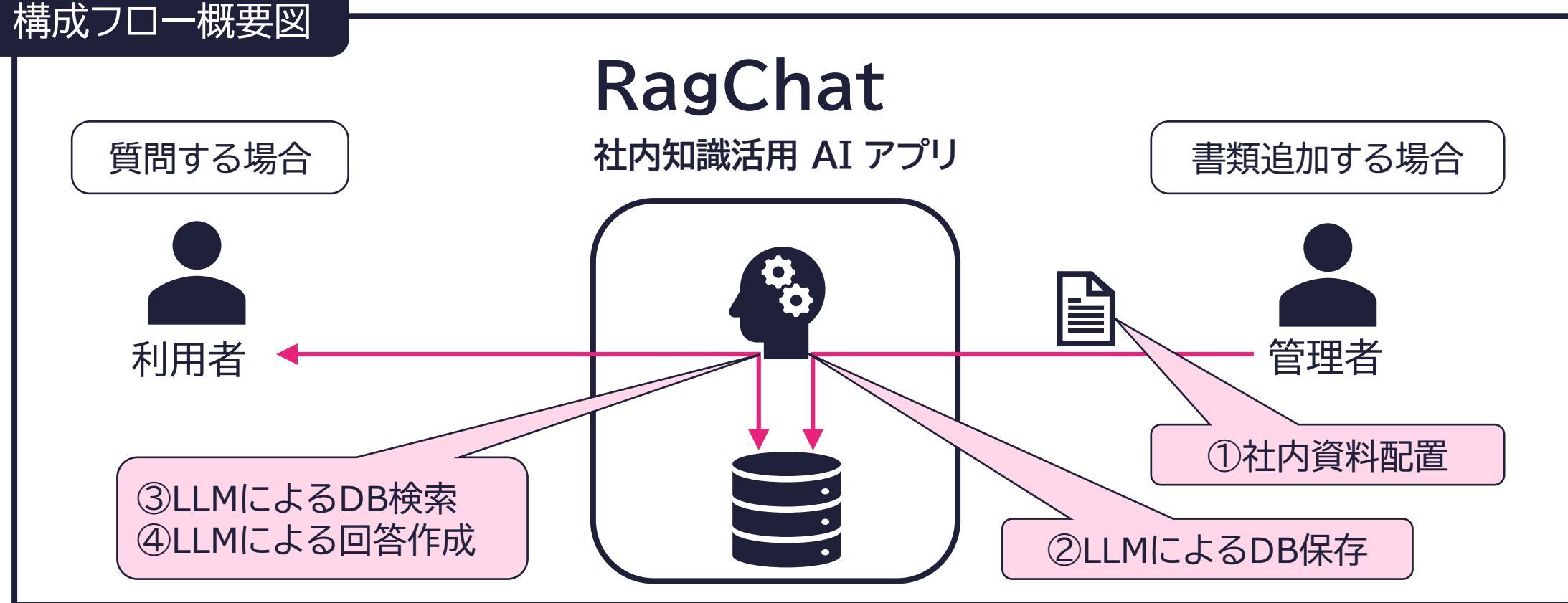
- ・顧客クラウド環境構築
- ・RagChat アプリケーション導入
- ・導入サポート
- ・運用開始サポート

# Appendix 1.RAG(検索拡張生成)とは？

・Retrieval-Augmented Generation の略称です。

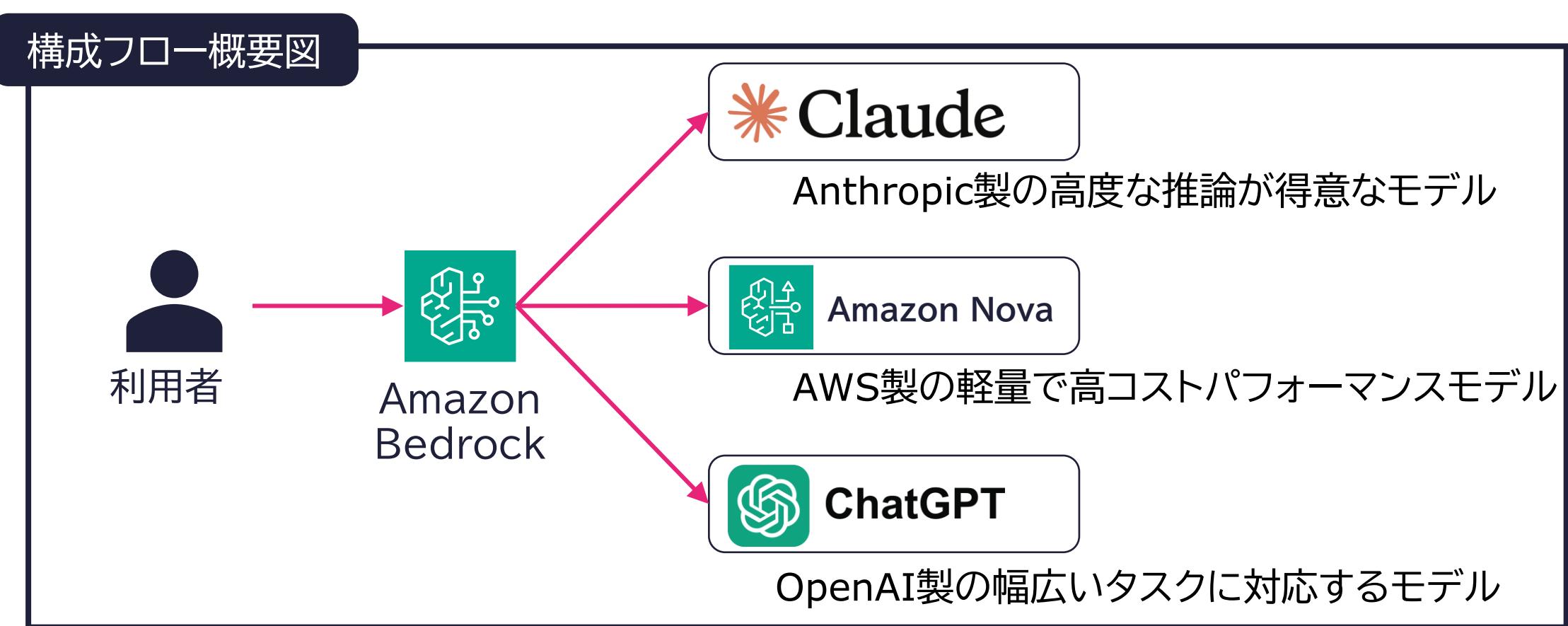
生成AIが回答を生成する際、貴社の情報ソースから関連する情報を検索・取得することで、ハルシネーション(=生成AIによる間違い)を抑止し、精度の高い回答をさせるための技術。

構成フロー概要図



## Appendix 2.Amazon Bedrockとは？

- ・AWSが提供する生成AIサービスプラットフォームを指します。  
Claude、Nova、GPTなど複数のAIモデルをAPIで安全に呼び出すことができます。  
生成AIに対する権限の制御や、通信の暗号化によるセキュリティも確保されています。



## Appendix 3. モデル別 特徴・料金体系について

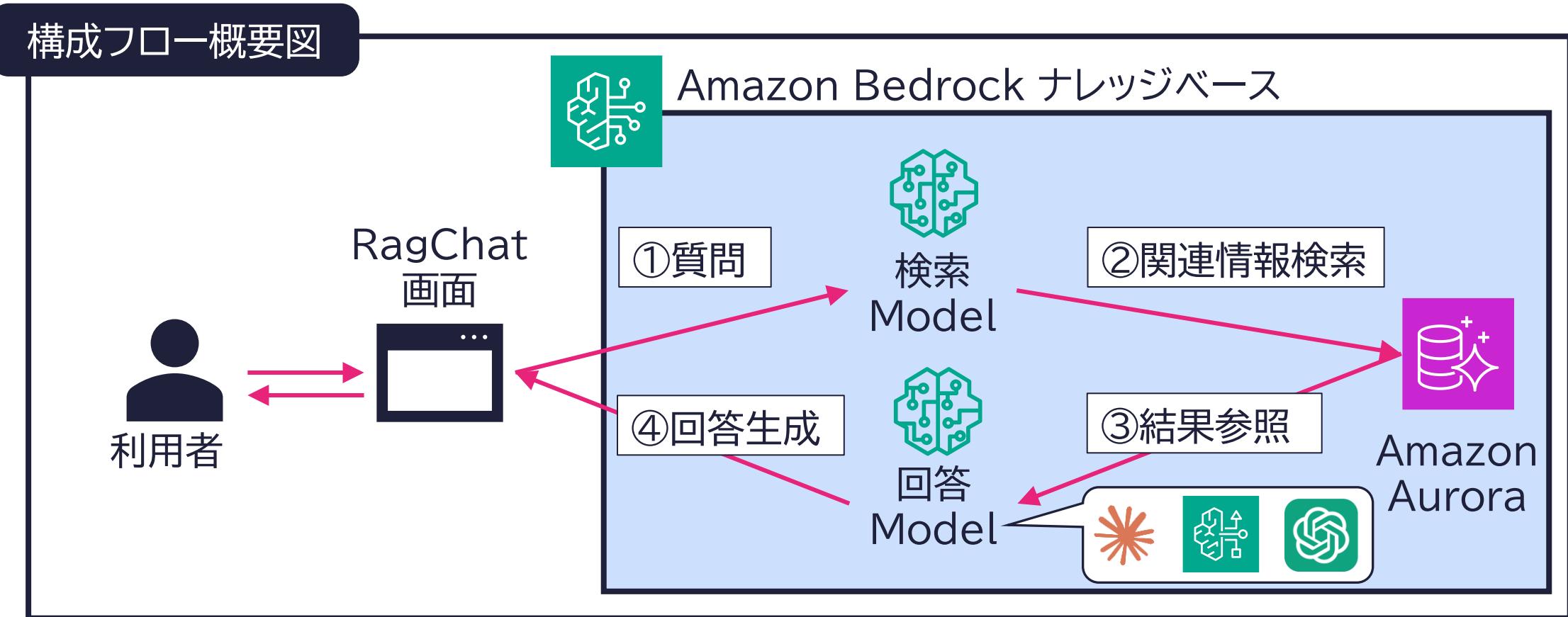
cbi

モデル	特徴	価格(1,000 入/出力 トークン)
 Claude <ul style="list-style-type: none"><li>· 3.7 Sonnet</li><li>· Sonnet 4</li></ul>	<p>高度推論・拡張思考対応</p> <p>最新版・高性能推論特化</p>	<p>※東京リージョンでの料金</p> <p>\$0.003(¥0.45) / \$0.015(¥2.25)</p> <p>\$0.003(¥0.45) / \$0.015(¥2.25)</p>
 Amazon Nova <ul style="list-style-type: none"><li>· Nova Lite</li><li>· Nova Pro</li></ul>	<p>低コスト・マルチモーダル</p> <p>高精度・速度・コスト最適</p>	<p>※東京リージョンでの料金</p> <p>\$0.000072(¥0.01) / \$0.000288(¥0.04)</p> <p>\$0.00096 (¥0.14) / \$0.00384 (¥0.58)</p>
 ChatGPT <ul style="list-style-type: none"><li>· gpt-oss-20b</li><li>· gpt-oss-120b</li></ul>	<p>ChatGPT 軽量版</p> <p>ChatGPT 高性能版</p>	<p>※オレゴンリージョンでの料金</p> <p>\$0.00007 (¥0.01) / \$0.0003 (¥0.05)</p> <p>\$0.00015 (¥0.02) / \$0.0006 (¥0.09)</p>

※ 1USD = 150円換算として計算

## Appendix 4.Amazon Bedrock ナレッジベースとは？

・AWSが提供する、RAG(検索拡張生成)を実現するフルマネージドサービスです。企業データを自動的にデータベースに格納し、質問時には関連情報を検索して根拠のある正確な回答を生成します。



# Appendix 5.RagChat画面レイアウト(1/3)

CPI

## ・PC版 レイアウト画面

サイドバー画面

メイン画面

The screenshot displays the RagChat application interface. On the left is the "Sidebar" (サイドバー画面), which includes a model selection dropdown set to "Claude Sonnet 4 (高コスト、最高品質モデル)", a search bar with placeholder "チャットを検索...", a blue "新しいチャット" (New Chat) button, and a message input field containing "弊社の設立はいつですか". At the bottom of the sidebar are user names "加藤" and "サインアウト".

The right side is the "Main Area" (メイン画面), which shows a conversation between "You" and "Assistant". The "You" messages are "弊社の設立はいつですか" and "弊社の取得している認定". The "Assistant" messages provide answers: "参考資料によると、株式会社協栄情報の設立は2011年3月14日です。" and "参考資料によると、株式会社協栄情報が取得している資格認定は以下の通りです：  
**AWS関連認定：**

- AWS アドバンスド コンサルティング パートナー
- AWS 公共部門 パートナー (PSP)
- AWS サイバーセキュリティ プロバイダー (CSP)

". Below the messages is a search bar with "社内データで検索" and "Claude Sonnet 4" selected. At the bottom is a message input field with placeholder "ご自由に入力してください..." and a send button.

# Appendix 5.RagChat画面レイアウト(2/3)

cbi

## サイドバー画面(部分拡大) 詳細説明

The diagram illustrates the expanded sidebar interface of the RagChat application, highlighting various features and their descriptions.

**モデル選択欄**  
複数モデルから選択が可能

**過去チャット検索機能**  
過去履歴のキーワード検索が可能

**新規チャット作成**  
トピックごとに新規チャットが作成され、質問ごとの管理が可能

**過去チャット一覧**  
過去のトピックタイトルが自動生成され、最近の履歴へ素早いアクセスが可能

**モデル選択欄** (Model Selection Panel): A dropdown menu showing "Claude Sonnet 4" (High cost, top model). A red box highlights the dropdown button. A callout points to this panel with the text "複数モデルから選択が可能" (Multiple models can be selected).

**過去チャット検索機能** (Past Chat Search Function): A search bar labeled "Q チャットを検索..." (Search chat...) with a magnifying glass icon. A red box highlights the search bar. A callout points to this function with the text "過去履歴のキーワード検索が可能" (Past history keyword search is possible).

**新規チャット作成** (New Chat Creation): A blue button labeled "+ 新しいチャット" (New chat). A red box highlights this button. A callout points to this function with the text "トピックごとに新規チャットが作成され、質問ごとの管理が可能" (A new chat is created for each topic, and management is possible for each question).

**過去チャット一覧** (Past Chat List): A section showing a list of past topics: "雑阿寒岳雑阿寒岳高さ" (Mount Asahidake Mount Asahidake Height), "Xbox Game" (Xbox Game), and "日本の祝日は何日ありますか？" (How many national holidays are there in Japan?). A red box highlights the first item in the list. A callout points to this section with the text "過去のトピックタイトルが自動生成され、最近の履歴へ素早いアクセスが可能" (Past topic titles are automatically generated, and quick access to recent history is possible).

**モデル選択欄** (Model Selection Panel): An inset window showing a list of available models:

- Nova Lite (Low cost, everyday tasks)
- Amazon Nova
- Nova Lite (Low cost, everyday tasks)
- Nova Pro (Low cost, complex inference tasks)
- Nova Canvas (Image generation)
- Anthropic Claude
- Claude 3.7 Sonnet (Medium cost, high inference ability)
- Claude Sonnet 4 (High cost, top model)

# Appendix 5.RagChat画面レイアウト(3/3)

cbi

## メイン画面(部分拡大) 詳細説明



### モード切替機能

「社内データ」を利用した検索をするのか、「通常生成AI」のみを利用した検索にするのか選択可能

### 選択したモード / モデルの表示

「社内データ」か「通常生成AI」の利用モードが表示  
その際、利用された生成AIモデルについても表示

### プロンプト記入・送信ボタン

テキストによるプロンプト入力以外にも、  
ドラッグアンドドロップでPDFや画像の添付が可能  
回答生成中でも生成を停止させることも可能

# Appendix 6.利用方法(ユーザー:ユーザー登録手順)

CPI

サインイン アカウントを作成

ユーザー名 \*

テストユーザー

パスワード \*

.....

パスワード確認 \*

.....

メールアドレス \*

cpitest@cpi.jp

アカウントを作成

メールアドレス確認

登録されたメールアドレスに送信された  
6桁の確認コードを入力してください。

ログインするには、メールに記載されたコードを入力してください。送信先:  
k\*\*\*@c\*\*\*. 到着するまでに 1 分かかることがあります。

確認コード \*

6桁の確認コードを入力してください

確認

コードを再送

メールアドレス確認完了

アカウント申請を受け付けました

メールアドレスの確認が完了しました。  
管理者による承認をお待ちください。

承認完了後、別途メールにてご連絡いたします

ログイン画面に戻る

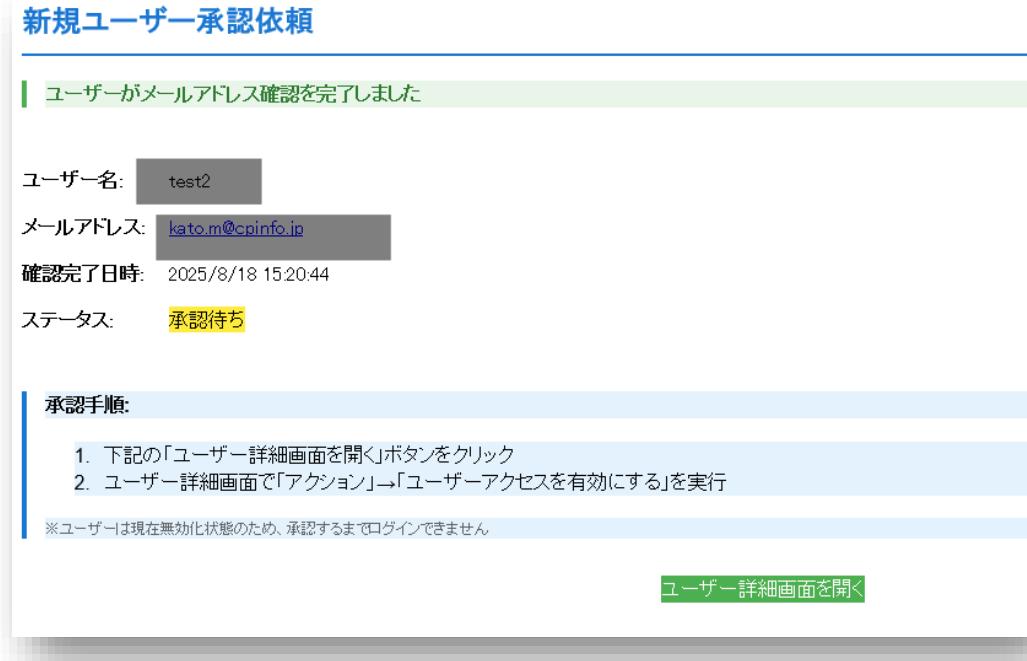
手順1. 「アカウントを作成」画面で  
ユーザー名、パスワード、  
メールアドレスを入力

手順2. 設定済みメールアドレス宛に  
送信された確認コードを入力

手順3. 管理者によってアカウント  
申請が承認後にサインイン可能

# Appendix 6.利用方法(管理者:ユーザー登録承認手順)

CPI



手順1. 新規ユーザー承認依頼メールの  
「ユーザー詳細画面を開く」をクリック



手順2. 遷移先のAWS Cognitoコンソール画面で  
「アクション」→「ユーザーアクセスを  
有効にする」を選択する。  
新規ユーザーのサインインが可能になる。

# Appendix 6.利用方法(ユーザー:パスワード変更方法)

CBI

サインイン      アカウントを作成

ユーザー名 \*

パスワード \*

 ④

**サインイン**

[パスワードをお忘れの方](#)

### パスワードのリセット

ユーザー名を入力してください

**コードを送信**

[サインインに戻る](#)

### パスワードのリセット

Code \*

新しいパスワード

 ⑤

パスワードを確認

 ⑥

**送信**

[コードを再送](#)

**手順1.** サインイン画面で「パスワードをお忘れの方」をクリック

**手順2.** パスワードを変更したいアカウントのユーザー名を入力。登録済みメールアドレス宛にコードが送信される

**手順3.** コードと新しいパスワードを入力する。管理者による有効化の後、サインインが可能